

平成30年度 水土文化研究部会企画セッション

京都の地域づくりにおける水土の知 — 千年の持続と独自の近代を支えた水

日時： 平成30年9月5日（水）
16時20分から17時50分

場所： 京都大学吉田キャンパス北部構内
農学部総合館 W 1階 W-106（第1会場）

内容・講演者

- 1) 「千年の都」京都の〈水土〉
渡邊紹裕（京都大学大学院地球環境学堂）
- 2) 琵琶湖疎水の開削と京都の近代化
小野芳朗（京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科）

企画セッションの概要

京都は千年来の首都である。平安京の時代を経て、琵琶湖疎水開削を契機として近代以降も独自の発展を見せるこの都市は、集住人口を支える後背地を育て、更には全国的に展開する〈水土の知〉の先端の地であり中心地でもあり続けた。そのような京都という〈水土〉の形成に大きく関わる水のあり方について、その特徴や歴史的意義、現代への政策的インプリケーション等を議論する。

オーガナイザー： 渡邊紹裕